



第518号 令和3年9月1日
発行所 京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町601-1 こどもみらい館2階
TEL (075) 256-0351
FAX (075) 241-3568
発行人 杉本英造

新型コロナウイルス感染症第5波・4回目の緊急事態宣言

会長 杉本英造

残念ながら新型コロナウイルス感染は増加の一途をたどり、8月20日から4回目の緊急事態宣言となりました。学校は2学期が始まり、若年者の感染も増加していますので、学校内での感染も心配されるところです。小学校陸上記録会・持久走記録会（10月30日）、第36回京都市小学校大文字駅伝（令和4年2月13日）は中止となり、2年連続開催されず、今後の医務室運営を心配しています。学校医会後援の令和3年度こどもの健康週間行事：子育て支援シンポジウムが10月16日に開催されますのでご案内いたします。

（WEB参加の詳細は巻末P4を参照ください。）

文科省から緊急事態宣言下での休校判断する新型コロナウイルス感染学校対応ガイドラインが策定されました。

- ★学級閉鎖：同じクラスで感染者や濃厚接触者が2人以上確認された場合は5日から7日
- ★学年閉鎖：同じ学年で2クラス以上が学級閉鎖となった場合には学年閉鎖
- ★休校：2つ以上の学年で学年閉鎖となった場合には臨時休校すべきとしています。

上記判断は、保健センターと教育委員会が協議し決定します。

「濃厚接触者」を認定する基準を巡っては、感染者と同じ寮の部屋で生活する者や、マスクをせずに1メートル以内で会話した者が「濃厚接触者」になりうるとしています。また、保健所が「濃厚接触者」を特定できない場合は、感染者と同じクラスの全員が検査の対象になりうるとのこと。まだ学校健診が終了していない学校もあり、今後の感染状況を見守っていく必要があります。健診実施2週以内に当該校で発生した場合、原則延期の調整をお願いしているところですが、学校側と協議の上、令和4年3月までにおこなってください。

文科省から大学、高等学校等における軽症者に対する抗原簡易キット等の活用（部活動、各種全国大会前での健康チェック等における活用を含む。）を奨励することを学校に通知（HP参照）があり、8月中旬からキットが配布されました。学校側から取り扱いについて問い合わせを受けましたので、教育委員会、京都府府医師会と協議しています。医療機関でも検査時間、場所を設けて防護を徹底して施行している検査を学校内でトレーニングなしで「抗原簡易キットの活用の手引き」を読むだけで理解し催行できるのか問題があります。小中学校にも配布されるようで、検査方法（小学生が自身で鼻に綿棒を挿入できるのか？ 検査上での感染問題）、偽陰性の取り扱い、検査キットが陽性時、学校医か医療機関に連絡とあり、その陽性者をどのようにしてPCR検査へつなぐのか？陽性者のプライバシー保護など問題山積です。キット使用にあたっては、キット活用の希望があり、利用が可能な体制（学校医や医療機関との連携の下、教職員等が検査に立ち会う体制が確立されていること）とされていますので、お知りおきくださいますようお願いいたします。体調の悪い児童・生徒は登校しないことを徹底するのが基本です。

2020年の小中高校生の自殺者は499人と過去最多、今年1月から7月で272人（小：7、中：75、高：190）、児童虐待も初の20万件超えとなり、コロナウィルス禍の影響が懸念されています。「こころのケア」「メンタルヘルス」のサポートが重要になって参りました。おとなも疲労蓄積状態ですが、子どもたちのSOSを早期に聴いてあげ、理解し寄り添えることができるかがカギとなります。

「学校でのCovid-19感染者に対する出席停止の考え方」のおさらい

北野中学校医 林 鐘 声

8月17日、京都府など7府県に期間8月20日から9月12日までの緊急事態宣言が発令された。同時に既に発令されていた6都府県も9月12日まで延長となった。

これに合わせて文科省が全国の教育委員会などに出した通知の詳細及び顛末については、杉本会長から報告があると思うが、通知の一部には、高校で生徒に感冒症状などがでた場合は、保健室で生徒自らが抗原検査キット検査を行い、陽性となれば直ぐに医療機関へ、陰性であっても直ぐに帰宅し医療機関を受診するとなっていた。その際、「学校医や医療機関とよく相談し連携をとる」といういつもの一文はあるものの、学校医には寝耳に水であった。

文科省のホームページを開けて、大部の通知文をいちいち確認するのは学校医にとってなかなか大変で骨折りである。今回もA4で23頁、黒い文字がずっしりと密になっていた。コロナに関連する学校保健の通知は、要約して校医ニュースに載せてはどうかとの腹案を持っているところから、隗になって（隗と貝では大違い）表題について書いてみた。

学校でのCovid-19感染者に対する 出席停止の考え方

- (1) 有症状のPCR陽性者
 - (a) 発症日から10日間経過し、かつ症状軽快後72時間経過するまで
 - (b) 発症日から10日経過以前に症状軽快した場合、症状軽快後24時間経過後にPCR検査又は抗原定量検査が陰性、更に24時間以降の検査が陰性となるまで
- (2) 無症状のPCR陽性者
 - (a) 陽性となった検体採取日から10日間経過するまで
 - (b) 陽性となった検体採取日から6日間経過後

の検査が陰性、更に24時間以降の検査が陰性となるまで

- (3) 濃厚接触者
 - (a) PCR陽性の場合は上記の基準
 - (b) PCR陰性の場合は陽性者との最終接触日から14日間経過するまで
- (4) 家族にPCR陽性者が出た場合
 - (a) 濃厚接触者としてPCR検査を受けて陽性の時は(1)/(2)の基準を満たすまで
 - (b) 濃厚接触者としてPCR検査を受けて陰性の時は(3)-(b)に準じる
 - (c) 濃厚接触者に該当しない時は制限なし
- (5) 塾、スポーツサークルなどで感染者が判明した場合
保健所の疫学調査から濃厚接触者と指定された場合には、(3)に準じる
- (6) 家族に咳嗽や発熱者がいる児童生徒の場合
京都市立学校では世帯の誰かがPCR検査を受けた場合は、結果判明までは学校欠席を依頼する。また、PCR検査を受けることになっていない場合でもできるだけ休養するように依頼する

これは昨年2月から5月の幾つかの通知をまとめたもので、その後はこれに関する新しい通知はないとは思いながら確信はなく、現場対応している教育委員会の方を煩わせてしまったが、変更はなかった。昨年の5月というはまだアルファ株の流行もない時期であった。今後、10代以下の感染増加が問題となっているデルタ株の流行のため学校・園でのクラスター発生の頻発や、より感染性の高い変異株が出てくると、濃厚接触者の定義や検査の時期などが修正されることもありうる。そんなこんなで、おさらいも必要かとして提示した。

学校医のコロナ感染対策について

桂坂小学校医 守上佳樹

現在、京都府の入院コントロールセンターとタイアップしてコロナ陽性者に対する24時間体制のコロナ専門訪問診療チームを2021年2月より立ち上げ、奔走しております。

Kyoto Intensive area care unit for SARS-Cov2 対策部隊（KISA2隊：通称きさつたい）という名称で、医師だけではなく、多職種超法人連携システムを核として、チーム一丸となって皆で奮闘しております。

私自身は広島大学の学校教育学部を卒業後に医学部入学しており、その時に国語の教員免許を取得しております。医師として学校教員として社会貢献しなければならないという勝手な使命感も強く、学校医会への寄稿をさせていただきます。

2021年2月から稼働、小児コロナも自宅に対応を行ってまいりました。

幸い、担当した自宅療養コロナ小児は重症化することなく全例改善しており、皆元気で室内を走り回っている姿が印象的でした。

私見ですが、第5波での注意すべき自宅療養のセグメントは

- ①高齢者、癌、糖尿病を含め、ハイリスク基礎疾患を有する患者
- ②単身赴任を含め、若年であっても自宅で完全に1人で生活している患者
- ③子どもさんがいる家庭で、家族内での感染拡大と考えております。まさに、学校医としては、③について実際の状況把握が必要と思います。

感染後のおおまかな流れですが、コロナ陽性となった場合は、まず各地区の担当の保健所を通して全例、感染者本人への調査連絡が入ります。すぐ入る事になってはいますが、感染流行の極期の時はどうしても動きが遅くなっている事を経験するので、それも織り込み済みで動く方が良い印象です。

小児の場合は親が対応することになると思います。その聞き取り情報に従って、個人調査票が新しく作成され（かなり詳しく書き込みがされている元データになります。）、調査票を元に情報の共有シートなどが各保健所の工夫で作成されます。

基本的にはコロナ陽性患者は全例入院、もしくは

ホテル療養が選択されるはずでしたが、（特にコロナ波の感染流行極期の場合は、スペースが現実的にありませんので、）私達に対応しているように、様々な理由により「自宅からでられない」コロナ陽性患者も多数存在し、その要因の一つが、まだ小さな子ども達を残して、自分だけホテルや入院をすることはできない、という理由となります。もちろん、子どもたち先行の感染も、状態が良好であれば、1人でホテルに隔離させることも非現実的です。ですので、自宅療養を選択せざるを得ない事になります。子どもを含め家族内での発症は、「自宅内からの隔離が難しい」「いくら自宅内での極力の隔離といっても、子どもたちを親から接触させずに生活するのは現実的ではない」といった状況になります。

両親は高齢の祖母、祖父を抱えながら、実質的な隔離もできず、どうしよう、どうしようとうろたえている間に家庭内での感染が広がってきます。家庭内での感染、自宅療養に関しては、（呼吸状態の悪化が進行すれば人命優先で有無をいわずに入院となりますが、）若くても高熱の為体が思うように動かず、食欲低下で脱水、子どもの対応、祖父祖母の介護の心労が重なって、共倒れになるパターンを経験します。

上記のような経過にならないように、学校医としてはまず担当している学校への感染防御アドバイスや、実際に発生した場合の地域の医療者としての調整役が少なからず、必要となってくる可能性があります。

感染防御のアドバイスに関しては、難しいことはあまり必要ではなく、コロナ流行前から推奨している、手洗い、うがいの習慣付けが重要と思います。また、感染経路としては口、鼻、目からのウイルスの体内侵入となりますので、子ども達や両親に口を触る癖や、目をごしごし掻く行為などを行わないように指導することも、単純ながら、大変有用であると思います。

感染発覚後の対応については、地域の医療者としての対応が求められます。

私見ですが、比較的高齢の学校医、開業医の先生方はコロナ前線に立つ事はないと考えています

が、それでも感染した住民は不安でいっぱいになります。学校医である前に、医師であること、またその前に同じ人間同士である事、を考え、一言のアドバイスや、「大丈夫か？」の一言でも結構ですので、声をかけてあげていただけましたら、それだけでも患者には大きな精神的支柱になると思いますし、どこかで必ず担当することになる、コロナ対応医師に

向けての、共闘になると思っております。

ともすれば、私も含めて陥りそうになる、「コロナは保健所や行政の管轄だから私の仕事じゃない、誰かがやってくれるだろう」と本来医師の立ち向かうべき「病」に、一切関与せずに背を向ける、という固定観念や、姿勢そのものが、一番注意しなければならない私達の「病」なのかもしれません。

第4回 常任理事会

令和3年9月4日
於 事務局

出席者 杉本会長、井本・山内副会長、安野専務理事、大久保・川勝・中嶋各常任理事、嶋元眼科学校医会理事、鈴木耳鼻咽喉科専門医会理事、奥村議長、長村・東道監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 8/24 2名
2. 小学校陸上記録会・持久走記録会(10/30・たけびし)の中止
3. 第36回京都市小学校大文字駅伝
令和4年2月予定の中止
4. 緊急事態宣言中の体育関連行事の制限について
5. 第52回全国学校保健・学校医大会の完全WEB開催へ変更について
6. 新型コロナ感染 学校対応ガイドラインのポイント
7. コロナ患者の発生した学校での健診について

<協議事項>

1. 小中学校で簡易抗原検査キットを使うことについて
2. 令和3年度ご勇退者について
3. 新年会について 中止になりました。
4. 第73回指定都市学校医保健協議会IN熊本について (2022年6月4日)
5. 京都市学校医会総会 2022年4月16日(土) こともみらい館を予定

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 9/7, 9/14 (待機者1名)
2. 精神衛生研究会 9/9 14:00～
3. 第5回常任理事会 10/2 14:00～
4. 子育て支援シンポジウム (WEB開催)
そうだったのか! コロナウイルス 10/16(土)
司会 小児科坂田医院 院長 坂田 耕一 先生
14:00～講演1 新型コロナが子どものころの健康に与える影響
浜松市子どものころの診療所 所長 山崎 知克 先生
15:00～講演2 コロナのトリセツ～子どもにとってコロナとは～
京都田辺中央病院 小児科部長 伊藤 陽里 先生

令和3年度 こどもの健康週間
子育て支援シンポジウム

「そうだったのか! コロナウイルス」 10月16日開催

どなたでもご参加いただけます!

WEB講演会は下記特設サイトより
ご視聴ください

事前申込
不要

視聴
無料

チャットで
質疑OK

(お問い合わせ)

令和3年度 こどもの健康週間
子育て支援シンポジウム事務局(株式会社ティ・プラス)

✉ kosodate@tplus-group.co.jp

<https://www.kyoto-kosodate.com>

zoom

<https://us02web.zoom.us/j/84158076403>



youtube

<https://youtu.be/GEISGebLnVg>



※当日の質問等は、zoomで参加される方のみ可能です。youtubeでは閲覧のみとなり、質問等は受け付けておりません。